

## 株式会社 広宣

草津市野路 6 丁目 5-1 TEL : 077-563-1315



企業を支える女性スタッフ! “ふっく君”と共に

「想いをカタチに」をモットーに、1977年から40年以上にわたり看板業を営んでこられた(株)広宣さんは、看板のワンストップ企業として、企画・デザイン・設計・施工・メンテナンスまでこなされます。常に優れた技術を追求め、誠実なものづくりを続けて来られた同社は、この度のコロナ禍をどう受け止め、成長の糧としたのでしょうか。

### コロナ禍の影響で…

#### お客様あつての商売であることの再確認

コロナウイルスの影響で一番大きかったものは、「お客様が苦しんでおられること」であったと語るのは、屋外広告士として長年同社にお勤めの杉本優子さん。「自社の売上の減少もありますが、それ以上に今までお付き合いしてきたお客様や周囲のお店が、本当に苦しんでおられるのを見て、いつもお世話になっている方々へ何らかのお返しができないかと考えました。」そこで、看板制作時に出る端材を利用し、小型のレリーフを作成。励ましの言葉とともに配布することにされました。「普段はあまり考えることのない、お客様との関係性を見返す良い機会になりました。お客様あつての我社です。」



端材を用いて作られた小型レリーフ。お取引先などに無償でご提供されています。

### コロナ禍を転機に…

#### ピンチはチャンス。

#### 社員の気づきから生まれた“ふっく君”

コロナ禍は、電車通勤の社員さんに商品開発のヒントを与えるきっかけにもなりました。電車のつり革に直接手を触れることをためらう方々が多いことに気づき、自社の技術を応用して何とか解決できないかと商品開発に着手。試行錯誤を重ね、サイズ・デザイン・使いやすさにこだわった“ふっく君”が誕生しました。こちらは、つり革に掛けることで直接触れなくてもよくなることに加え、ボタンを押すときやカートを引くときにも応用が効くスグレモノ。ネット通販を中心に、県内のみならず全国から注文が相次いでいます。またこの開発を機に、今までの受注型ビジネス（顧客からの要望に対応するスタイル）とは異なるプロダクト型ビジネス（顧客へ商品を提供するスタイル）への手ごたえを感じたということです。「新しいビジネススタイルについて気づくことができ、待っているだけではない商売の仕方を学ぶことができました。」と杉本さん。



カラーバリエーションも豊富な「ふっく君」



ふっく君の注文ならコチラから

### コロナ禍を超えて…

#### 地域とともに、更なる飛躍を

今回のコロナ禍で、地元顧客とのつながりの大切さ、社員からの提案力の掘り起しなど、様々なことに気づくことができたと言います。杉本さん。「実は他にも提案できる商品はあるのです。例えば“カラーコーンカバー”。そっけないカラーコーンにさまざまなデザインのカバーをかぶせることで、‘見られる機能’をアップさせます。子どもたちがデザインしたカバーで、地元小学校の交通安全啓発のお手伝いをさせていただいたこともあるんですよ。」

これら、“ふっく君”を含めた商品群は、草津市のふるさと納税の一部にも応募しようと検討されているとのこと。コロナ禍を嘆くだけではなく、自社を見つめ直し、地域とともに新しい商品で更なる成長を目指すその姿に、今後ますますの活躍が期待されます。



カラーコーンカバーによる交通安全啓発